

歴史学の最前線



Sugane Nakagawa

① 10/9

Sat. 13:00-14:30

江戸時代の農業 ——農民の達成したもの——

中川すがね ● 本学・歴史学科教授

江戸時代は農業を基礎とする時代であり、人口の大多数は農業に関わっていました。徳川の平和のもと農民たちは土地を拓き日々耕し農業技術を進展させることで、着実に生活を向上させ、地域社会のありかたを変え、武士の支配をも変容させていったのです。摂津国の淀川流域を舞台に、江戸時代の農民たちが達成したものは何か改めて考えます。



Hitomi Inoue

② 10/9

Sat. 15:00-16:30

近代欧米の博物館・美術館における 日本美術コレクションの形成

井上 瞳 ● 本学・歴史学科准教授

現在欧米の博物館や美術館において、日本の美術工芸品が民族学博物館、装飾工芸美術館、東洋美術館と、異なった分野に収蔵されているのはなぜでしょうか。このセミナーでは、特に近代に焦点を当て、欧米における日本美術の収集と分類の変遷について、歴史的背景を辿ることによって明らかにしていきます。



Kaneharu Fukushima

③ 10/23

Sat. 13:00-14:30

鎌倉後期の土岐氏と東濃の住人

福島金治 ● 本学・歴史学科教授

多治見市長福寺の正安三年(1301)ころの美濃国池田御厨某寺奉加帳は、寺社の建物か仏像の造営に喜捨した人の名を書き上げたもので、東は瑞浪駅、西は春日井駅付近までの人々の名がみえます。この帳簿を通して、檀那と伝えられる長瀬殿頼氏らの土岐氏一族をはじめ地域住人のすがたと地域の様相を検討します。



Ryosuke Fujisawa

④ 10/23

Sat. 15:00-16:30

東濃型山茶碗の生産と流通

藤澤良祐 ● 本学・歴史学科教授

東海地方では30カ所以上で中世窯が確認されています。このうち瀬戸窯の施釉陶器(古瀬戸)、常滑窯や渥美窯では大形壺甕類が著名ですが、多くの窯業地では、無釉で粗末な碗皿類(山茶碗類)の生産が主体でした。このセミナーでは、主に東濃窯で生産され、尾張・美濃地域に広く流通した東濃型山茶碗について考古学的成果を報告します。

日時

2021年10月9日(土)・10月23日(土)

①③ 13:00-14:30 ②④ 15:00-16:30 (開場12:30)

会場

愛知学院大学名城公園キャンパス
キャッスルホール明倫 (定員185名、先着順)

〒462-0846 愛知県名古屋市北区名城3-1-1 地下鉄名城線「名城公園」下車徒歩1分

対象:どなたでも参加できます(中高生歓迎) 入場無料 事前申込不要

お問い合わせ先 ● 愛知学院大学文学部歴史学科 ☎0561-73-1111(代) E-mail: rekisi@dpc.agu.ac.jp
歴史学科HP <http://www.flet.agu.ac.jp/information/history/news/>
愛知学院大学HP <http://www.agu.ac.jp/>



AICHI GAKUIN
UNIVERSITY